

学校いきいきプラン

1 趣 旨

「学校いきいきプラン」は、社会全体で学校を支え、学校教育の一層の活性化を図るため、平成16年度までの3年間で約5万人を目標に、全国の学校に社会人を補助教員として導入し、子どもたち一人一人に目配りのきいた教育を実現する構想である。

2 実施方法

本プランについては、平成14年度より所要の予算措置を講ずるとともに、平成13年度補正予算による「緊急地域雇用創出特別交付金」を活用するなどにより実施することとしている。

3 補助教員の役割・位置付け等

「学校いきいきプラン」で活用される社会人は、特別非常勤講師、「緊急地域雇用創出特別交付金」の活用により雇用される教員補助者、ボランティアの教員補助者を想定しており、教員補助者の活用分野は例えば、次のようなものである。

- ・教科指導における担任教員の支援・補助
 - ・情報教育での機器の操作等についての担任教員の支援・補助
 - ・理科教育での観察・実験における担任教員の支援・補助
 - ・体験活動における担任教員の支援・補助
 - ・問題を起こす児童生徒への対応の支援・補助
- 等

緊急地域雇用創出特別交付金を活用した「学校いきいきプラン」事業(平成14年度予算ベース)

活 用 例	件 数	県 市町村		事業額(千円)	雇用人数(人)
		県	市町村		
1 各教科・総合的な学習の時間等の指導における活用	746 (30.1 %)	44	702	11,718,308 (33.7 %)	8,207 (27.4 %)
2 進路指導等における活用	29 (1.2 %)	23	6	1,360,629 (3.9 %)	884 (2.9 %)
3 社会奉仕活動、自然体験活動等における活用	8 (0.3 %)	1	7	64,033 (0.2 %)	102 (0.3 %)
4 読書活動における活用(学校図書館における活用)	86 (3.5 %)	5	81	673,069 (2.0 %)	1,083 (3.6 %)
5 学校生活における活用(生徒指導支援を含む)	360 (14.5 %)	17	343	3,492,920 (10.1 %)	3,164 (10.6 %)
6 障害児指導における活用	252 (10.2 %)	18	234	1,846,991 (5.3 %)	1,291 (4.3 %)
7 外国人児童生徒指導における活用	53 (2.1 %)	5	48	242,917 (0.7 %)	245 (0.8 %)
8 学校の情報化等における活用	444 (17.9 %)	27	417	4,694,631 (13.5 %)	4,186 (14.0 %)
9 児童生徒の安全の確保における活用	11 (0.5 %)	1	10	218,506 (0.6 %)	160 (0.5 %)
10 その他 (複数の分野にまたがる事業、分野が特定されない事業等を含む)	488 (19.7 %)	61	427	10,436,970 (30.0 %)	10,671 (35.6 %)
計	2,477 (100.0 %)	202	2,275	34,748,974 (100.0 %)	29,993 (100.0 %)